

令和3年2月16日

令和2年度 仙台市公共事業再評価の結果と対応方針

仙台市長 郡 和子

令和2年度に再評価を実施した下記事業の再評価の結果と対応方針は、仙台市公共事業再評価検討委員会が作成した対応方針案を踏まえ、下記のとおりとする。

記

再評価の結果と対応方針

事業名	再評価結果	対応方針
(一) 仙台名取線（長町工区）道路改良事業	別紙のとおり	事業継続

令和2年度 再評価対象事業リスト (道路事業)

事業名(一) 仙台名取線(長町工区) 道路改良事業

事業の目的・内容	事業の進捗状況				事業を巡る社会・地元情勢の変化	事業の状況及び今後の見通し	費用対効果に係る要因の変化の有無 費用対効果 (B/C)	対応方針 (案)	備考
仙台名取線(長町工区)は、あすと長町～広瀬橋交差点を結ぶ区間であり、あすと長町地区の周辺開発や仙台市立病院の移転に伴い自動車、自転車・歩行者の交通量が増加し、交差点部の渋滞や交通事故の発生が危惧されている。また現況の歩道幅員も狭小であり、自転車・歩行者の錯綜等、安全性が低下している。このことから、当該工区の整備により、交差点改良、歩道の拡幅を行い自動車交通と歩行者の安全性の向上を図るものである。 なお、本路線はあすと長町土地区画整理事業に関連して平成7年に幅員を20mから36mに都市計画変更され、一部用地を先行取得しながら本市による都市計画道路整備事業化を模索してきた。平成20年の国道4号振替によって同経路が市道から国道となり、平成24年度に国において新規事故対策事業化されて用地取得を進めてきた。平成28年度の国道4号・48号の移管に伴い、本路線が県道となったことから、平成28年4月に再度仙台市の事業となった。	事業着手年度	H28	R2迄 事業費 (D)	1.1億円	当該地区は、平成19年度にはあすと長町のまちびらきやあすと長町大通り線の開通、また、平成26年度には新仙台市立病院の開院を予定していたことから、交通量の増加による渋滞対策が求められていた。また、広瀬橋交差点は右折が出来ないことから利便性が悪く、追突事故等も発生しやすい地区であった。そのため、国が安全対策事業として事業化して、平成24～27年度にかけて面前の用地取得を進めてきた。平成28年度に本市が国から事業を引き継いで、地権者に対して交渉を継続してきたが、用地取得に難航していた。しかし、地元町内会から広瀬橋交差点における右折不可の早期解消を要望されていたため、平成30～31年度に右折レーンを設置するための暫定整備工事を行って、地元要望に応えた。	用地取得が難航しているため、取得済みの用地を活用して平成30～31年度に右折レーンを設置する暫定整備工事を行い、地元要望に込えている。今後も残る地権者に対し用地取得に向けた交渉を継続していく。	事業全体のB/C B=11.7億円 C=8.6億円 B/C=1.37 一年遅れた場合のB/C B=11.3億円 C=8.3億円 B/C=1.36 現時点までのB/C B=0.55億円 C=1.5億円 B/C=0.36 来年度から完了のB/C B=11.8億円 C=7.4億円 B/C=1.59	継続	
	用地買収	H28	R2迄 用地費 (E)	0億円					
	着手年度 工事着手年度	H30	R2迄 工事費 (F)	1.1億円					
	完了予定年度	R8							
	全体事業費 (A)	9.8億円	全体進捗率 (D/A)	11.2%					
	全体用地費 (B)	1.9億円	用買進捗率 (E/B)	0%					
	全体工事費 (C)	7.9億円	工事進捗率 (F/C)	13.9%					
	全体計画	延長337m 幅員36m	供用延長・ 整備率等	延長337m					